

もおか

2025
令和7年1月 No.836

No.166

わが家の天使たち

さくらの
たむら ひなり
田村 雛凜 ちゃん(2)

いつも家の中を明るくしてくれるうちのアイドル！いたずら大好きでママもパパも困っちゃうけど、ニコッと笑われると憎めないよ！これからも毎日楽しく暮らしていこうね。
(父・母より)

笑顔 をさがして

403 人目の笑顔さん

わたなべ なおこ
渡辺 直子 さん



子育て奮闘中の今日この頃。趣味は料理、裁縫などインドア系が多いです。今後は、家族でキャンプなどアウトドア系にもチャレンジしたいです。それまでに虫嫌いを少し克服しなくては！（笑）



いちごのまちから 未来をつむぐ もおか70

～真岡市70周年・二宮誕生70年～

いちご会 市民作品展 作品募集！

絵手紙

絵画

写真

手芸

自分の作品を出店して、市民のみなさんに見てもらいませんか？

作品のテーマ

あなたが思う真岡市の70年間とは・・・？

作品提出期間

1月7日（火）～21日（火）

展示場所・期間

複合交流拠点施設 monaca 1階 ウェルカムギャラリー
2月4日（火）～19日（水）

参加対象

真岡市に在住・通勤・通学の方ならどなたでも

作品の大きさ

平面作品：100cm×100cm 以内
立体作品：幅 80cm×奥行 5cm×高さ 30cm 以内

応募方法

作品に応募票（下記窓口で配布・HP からダウンロード）を添えて、応募先へ直接持ち込み、または配送業者で送付 ※ 1人3点まで

応募先

〒321-4395 真岡市荒町 5191 番地 真岡市教育委員会 生涯学習課

問・生涯学習課生涯学習係 Tel 82-7150

参加費
無料

参加賞
あり



詳細は市HP参照
ID 23711

広報もおか 836号/令和7年1月1日発行/発行人 真岡市長 石坂真一/編集 秘書広報課広報広聴係 〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 / TEL 0285-83-8100 / FAX 0285-83-5896 / HP <https://www.city.moka.lg.jp/>



特集

新春対談「真岡の未来を語り合おう」
もうすぐ開館！複合交流拠点施設 monaca



令和6年度は真岡市70周年・二宮誕生70年



真岡の未来を語り合おう 新春対談 石坂市長 × FM もおか出演者たち

真岡市市制施行 70 周年を迎えて、次の 100 年につなぐ新たな一歩を踏み出しました。
人口減少・少子高齢化という大きな課題を乗り越え、未来に向けて持続的な発展を続けていくため、これからの真岡市を担っていく市内在住の若者 3 人と市長に、真岡市の好きなところや思い描く「真岡の未来」などについて語っていただきました。

FM もおか 「真岡の未来について話し合おう」に出演 11/4 放送
12/28、1/4 再放送



いしかわ のぞみ
石川 希 さん (32 歳)

石川産業（株）常務取締役

真岡を好きな気持ちが強く、地元のためにこれから何ができるのか、生まれ育った真岡に恩返しする意味で、その時代にその中で自分ができることをやっていきたいです。



おきすぎ みさき
沖杉 美咲 さん (23 歳)

通訳

将来は通訳として一人前になり、海外の方に真岡をより知ってもらいたいです。真岡に観光客が増え、観光案内等のサポートができればいいと思います。



こばやし ゆうか
小林 優花 さん (22 歳)

特別養護老人ホーム喜望荘
施設栄養士

施設栄養士として、病院や施設等の栄養士の方々と関わりながら実務経験を積み、真岡を築いてきた高齢者の方々に、感謝の気持ちを伝えられるようになりたいです。



市長 明けましておめでとうございます。今回は、「真岡の未来について語り合おう」と題して、FM もおかに出演いただいた若者 3 人にお越しいただきました。よろしくお願いいたします。



左から FM もおかパーソナリティの大山さんと出演者の皆さん

真岡の魅力や良いところは？



石川 希さん

地域の団結力とイベントの活気

石川 真岡は地域の人々とのつながりが強く、祭りやイベントに対する活気を感じます。特に季節の節目ごとに力を発揮する人々が多く、他市町と比べて団結力が強いことが大きな魅力だと思います。また地域の活性化に向けた取り組みも非常に盛んで、春は桜まつり、夏は野外フェスや夏まつり、秋は流鏑馬や太々神楽等、四季折々のイベントが豊富です。私も太々神楽等の活動に参加していることもあり、四季を通じての魅力を実感しています。

温かみを感じるまち

小林 私は通学や通勤で茨城県に通っていた経験がありますが、現在は地元の特別養護老人ホーム喜望荘に勤務しています。そこで感じることは、地域の人々が本当に親切で心が温かいということです。地域の人々と企画するイベントがもっと増えると良いと思います。



小林 優花さん

住みやすいまち

沖杉 真岡は住みやすいまちだと思います。東京で就職活動をしていた時、東京は便利なまちですが人口密度の高さなどから住みづらいいと感じました。真岡の魅力はいろいろありますがやはり真岡木綿。真岡の特性をもっとアピールすることが重要だと思いますし、多言語のガイドブックで魅力を発信していけたらいいと思います。



沖杉 美咲さん



こんなまちになってほしい

市長 真岡市にこんなものがあったら、こうなっていったら等、皆さんの要望やアイデアを聞きたいですね。また真岡の課題は何だと思いませんか？

手厚い子育て支援策

石川 若い世代や子育て世代が他市へ流出する主な理由は、子育て支援の充実度にあると思います。そのため、住宅購入時の補助や子育てに関する補助金を手厚くすることにより、若い子育て世代の地域定住が促進されと考えます。

市長 真岡市は子育て支援策において、県内で際立った取り組みをしており、特に県内唯一の取組みである「オンリーワン事業」として、例えば2歳児未満のおむつやおむつごみ袋の購入費補助、もおか健康相談24時等の医療体制を整備しています。

さらに公立保育所で外国人の先生による英語の授業を実施し、真岡独自の先進的支援を行っています。しかしこうした取り組みが広く知られていないため、市の魅力が十分に伝わっていない。こういう意見を大事にして広



報を強化し、市の魅力や有効な支援策を多くの方に知ってもらうことが重要です。特色ある支援の充実と情報発信こそが大きな鍵を握っていると思います。

知名度向上

小林 友人から真岡の魅力について尋ねられた際、自身でもその魅力を明確に上手く伝えられないことに気づきました。その理由として、真岡には若者が集まる場所やお店が少ないことが、真岡の知名度に大きく関係していると感じています。日本一のいちごの産地として、子どもから大人まで楽しめるスイーツなどを地域で作ってアピールできたらと考えます。

市長 真岡市は、日本一のいちごの産地としてPR活動に注力してきたので、市のイメージがいちごに強く関連付けられていると考えます。今年の3/15.16には、「ストロベリーワールド in 真岡」を開催し、市内外にもアピールしたいと考えています。ぜひ若い人たちにもPRに協力してもらいたいですね。

交通の利便性

沖杉 大学で日本の文化を海外に伝える方法を学び、観光に焦点を当てると、交通の利便性の課題や、多言語対応のガイドブックが不足



していると感じます。私は真岡の夏まつりが大好きで関わっているのですが、海外の方に来てもらいたいと思っていても、交通面の課題から実現が難しいと断念してしまいます。

市長 交通利便性は非常に難しい問題です。真岡線が宇都宮まで延伸されていないのは、かつて宇都宮よりも水戸の方が発展しており、この辺は県境であるため、労働者や商人は主に下館方面へ移動してた背景があります。真岡だけではなく芳賀郡全体が公共交通機関の課題に直面しており、地域の発展に重要な問題です。

真岡の未来に向けて

地場産業の強化

石川 真岡の企業の発展を考えた時、100億円規模の企業の数が重要であり、地場産業の強化が求められています。市内の企業には優れた人材が揃っているため、地元企業を支援し、成長させることで、税収の増加が期待できると見込んでます。

グローバルな視野

沖杉 若い頃から通訳の仕事に憧れていたものの、実際に通訳の仕事を始めると専門



用語の理解や文化の違いによる雑談やジョークの翻訳に苦労しました。一方で、市では中学校の海外姉妹校等との国際交流が盛んに行われており、こうした交流を通じて、子どもたちがグローバルな視野を持つことができるようになっていくことを願っています。

誇りを持てるまち

小林 栄養士としての観点から、地域で生産・消費する地産地消の推奨が重要だと思います。

また、いちごだけでなく真岡木綿やSLなどの真岡の魅力を活かした、誇りを持てるまちづくりを進め、定着するようになっていくことを期待しています。

市長 真岡の魅力と言えば、「いがしらリゾート」ですがご存知ですか？現在、井頭公園や井頭温泉、チャットパレス、一万人プール等の施設のリニューアルや整備を進めています。特にグランピングは利用者も多く、家族・グループ専用の宿泊棟では、チョコレートフォンデュやイルミネーションの装飾が楽しめるなど独自の付加価値を高めることで人気を集めています。「真岡といえばここ！」という真岡の代表的なリゾート地を目指しています。若い世代に利用してもらい、SNS等を通じてその魅力を発信していったほしいです。本日はありがとうございました。



1月25日(土)午後1時オープン！



真岡市複合交流拠点施設 monaca

真岡市複合交流拠点施設 monaca は、図書館や子育て支援センター、子どもの遊び場、地域交流センターの機能が連携・融合する施設です。monaca は、「真岡のまんなか！」という意味で、まちの中心としてにぎわってほしいという願いを込めて公募で名づけられました。(問・複合交流拠点施設 monaca Tel 85-8002)

施設情報

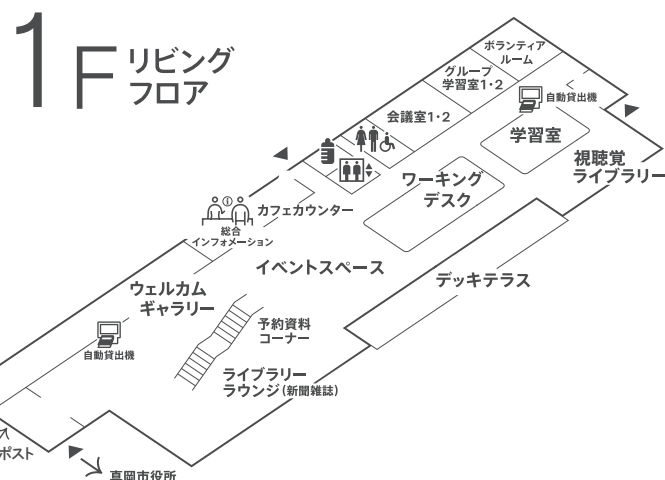
【所在地】荒町 5131 番地
 【開館時間】火～金曜日 午前 9 時～午後 8 時
 土・日・祝日 午前 9 時～午後 6 時
 (子育て支援センターは午後 5 時まで)
 【休館日】月曜日(祝日開館)、年末年始など
 【駐車場】68 台 【駐輪場】108 台



詳細はmonaca
HP 参照



地域交流ゾーン



ウェルカムギャラリー

市民ギャラリーとして、地域の人々が作品や活動を発表・展示できるスペースです。
 ※無料(予約制)

イベントスペース

飲食ができるスペースです。

カフェカウンター

飲み物や軽食を購入できます。
 【営業時間】午前9時30分～午後4時



ライブラリーラウンジ
 ソファに座って、ゆったりと新聞や雑誌を読むことができます。



学習室・ワーキングデスク・視聴覚ライブラリー

Wi-Fiが完備され、快適な環境で集中して作業や勉強ができるほか、所蔵されている DVD や CD を視聴できます。



会議室・グループ学習室

地域活動の打ち合わせやワークショップ、グループワークなどに利用できます。



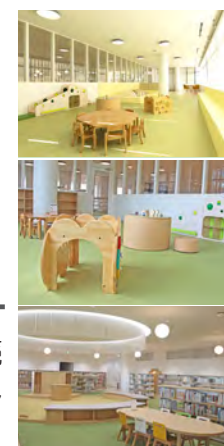
場所	定員	使用料
会議室 1・2	各 20 人	1 室 1 時間 300 円
グループ学習室 1・2	各 2～6 人程度	無料 (2 時間まで使用可)

子どもゾーン



ぴよぴよルーム

親子でゆったり遊べるスペースや赤ちゃん向けの絵本を設置しています。また、保育士に子育ての相談ができます。
 【対象】0～1 歳児と保護者



もおかっ子ライブラリー

子ども向けの本を配架し、読み聞かせができるおはなしコーナーもあります。

図書館ゾーン



最上階

R_F
 みはらしフロア

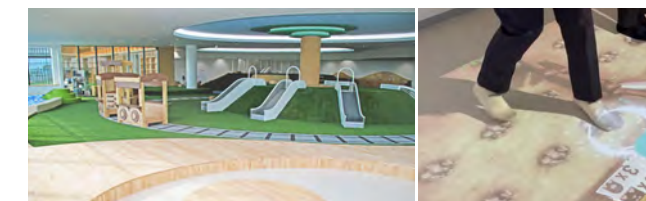
五行川テラス

最上階のテラスは、フリースペースとして五行川を眺めながら読書や交流に利用できます。



もおかっ子ひろば(有料)

天候に左右されず、安心して遊べる屋内型子ども広場です。最新のデジタル遊具や魅力あふれるおもちゃが揃っています。



利用対象・方法

【対象】小学 6 年生までの子どもと保護者

【料金(子ども 1 人あたり)】1 時間のクール制

真岡市民：1 時間 100 円

市民以外：1 時間 300 円

※ 2 歳未満の子ども、保護者、障がい者は無料

【予約方法】施設予約ページで受付

1月10日から予約開始！



もおかっ子ひろば
施設予約ページ

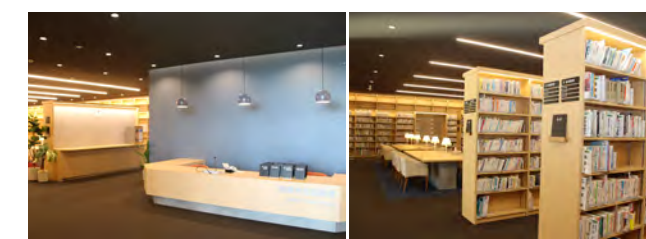
もおかっ子テラス

ドーナツ型のトランポリンや木製ステップで遊べます。



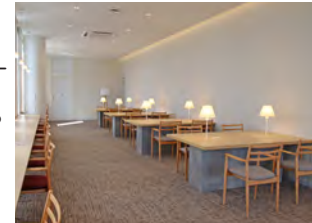
メインライブラリー

3 階を図書館のメインフロアとして、各階の蔵書と合わせると約 20 万冊の本が配架されています。また、自動貸出機が各階に設置され、ご自身で貸し出しの手続きができます。



読書室

3 階奥の静かなスペースで読書を楽しめます。



表彰 第71回 真岡市教育祭

教育祭がKOBELCO 真岡いちごホール（真岡市民会館）小ホールで開催され、今年度は4部門において、86人4団体の方々を受賞しました。（敬称略・順不同）



学校教育功労者部門

◇学校医（10年以上）三戸英章、小川松夫、飯野聡、本多さやか、伊藤譲治 ◇学校薬剤師（10年以上）松本智子、北川芳則、大類順子

社会教育功労者部門

◇文化財調査員（10年以上）野澤訓、北島隆行◇スポーツ推進委員（10年以上）落合欣也、石川清、椿晃代、櫻井美紀、大塚真司、高崎弘子◇地域公民館長（7年以上）桜町公民館長／喜多正則、東郷公民館長／長田利男◇PTA 優秀会員（4年以上）真岡小学校・真岡中学校／山口久史朗、真岡東小学校／高久かおり・柳田耕史、真岡西小学校／榊原毅、大内東小学校・大内中学校／石並香織、大内東小学校／磯強、山前小学校／日下聡史、西田井小学校・山前中学校／日下田勇、中村小学校・中村中学校／川又養成・賀川元史、久下田小学校／黒崎正敏◇スポーツ協会長等（8年以上）



スポーツ協会 会長／井澤一男、スポーツ協会 専門部長／西村貴之◇真岡西小学区青少年健全育成連絡会長（8年以上）齋藤明宏

篤行者

◇市内小中学校への寄付／JA はが野いちご部会会長小林聡◇西田井小学校への寄付／西田井区・鶴田区・八條区◇物部小学校への寄付／黒子原教育を語る会

各種活動優秀児童生徒

【真岡東中】吹奏楽部

優秀児童生徒部門 優秀児童（小学6年生）

【真岡小】早川結都、菱沼ルキア、上山竜之介、藤田想人【真岡東小】渡辺佳広、上野萌杏、柳田幸乃【真岡西小】伊澤遵、岩澤実織、間山麗華、筒井晴香【亀山小】柳田陽愛、馬込大地【大内中央小】板垣妃夏【大内東小】大木伶旺稔【大内西小】菅谷永【山前小】黒古姫楓、石田龍【西田井小】安田千鶴【中村小】上野花恵、内海糸都、宮田紗季【長田小】生井悠吾、飯田紗菜、【長沼小】横山愛莉【久下田小】中荒井愛彩、仁平香歩【物部小】岩沼美桜、寺内梨夏



優秀児童生徒部門 優秀生徒（中学3年生）

【真岡中】山口華苗、齋藤里菜、白鞘大飛、天満屋和、大森大樹【真岡東中】大島ゆりな、鹿嶋由芽、小島成容、伊佐野隼太【真岡西中】廣瀬瑛太、篠崎結愛、神山太稜【大内中】大木梨萌音、助川紗菜【山前中】高崎愛梨、中野結衣【中村中】大関奏翔、磯海月、假屋樹希、金田遼太郎【長沼中】佐藤健哉【久下田中】池場惺哉、泉田実優、橋本佳歩【物部中】高橋満天



表彰 日ごろ耳にするかわいいつぶやきで癒やされる 子どものつぶやき大賞

子どものかわいい「つぶやき」や「言い間違い」などを募集する“子どものつぶやき大賞”で、市民による投票が行われ、受賞した6作品が決定しました。大賞には、俵倫子さん（長田）のお子さんがパパに伝えた、サプライズプレゼントのかわいいやりとりが選ばれました。



入賞作品は市HPに掲載しています
ID 24064



式典 設立50周年記念式典・記念講演 真岡市統計普及推進協議会

真岡市統計普及推進協議会設立50周年を記念し、式典と講演会が開催され、会員等約40人が参加しました。式典では、今年度の表彰受賞者の紹介や、これまでの活動の足跡と功績をたたえ、更なる発展を誓いました。講演会では、県統計課職員を講師に「統計から見た栃木県の経済」と題し、統計調査の活用や、栃木県の現状について学びました。

表敬訪問 優れた発明を表彰する「地方発明表彰」にて 発明奨励賞を受賞

地方発明表彰は、発明の奨励や育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的に、優れた発明や意匠などを生み出した技術者・研究開発者を顕彰するものです。今回、石島の有限会社田村工機が、ふるさと納税の返礼品にもなっている、熱伝導性を高めたアウトドア調理器具で発明奨励賞を受賞しました。



左から、職人 松岡勇真さん、マネージャー 戸頃美和さん、石坂市長、専務取締役 戸頃智浩さん



活動 地域の人とふれあいながら職場体験 中学生マイ・チャレンジ推進事業

マイ・チャレンジ推進事業では、中学2年生がキャリア教育の一環として、地域の事業所などで社会体験活動を実施しています。この日は、中村中学校の2人が、真岡市役所で、FM もおかのラジオパーソナリティを体験しました。初めは緊張していた生徒たちも次第に慣れ、積極的に質問するなど自信を持って生き生きと活動に取り組んでいました。

活動
12.3 (火)

乗り方を学んでいちごバスに乗ってみよう バス乗り方教室（亀山小学校）

公共交通機関を利用する機会が少ない小学生に、バスの乗り方やマナーなどを学んでもらおうと“バス乗り方教室”が行われました。時刻表の見方や運賃支払い方法、バス停では安全な場所で待つことなどを教わった後、いちごバスの車両を使って、実際に乗車体験をしました。初めていちごバスに乗る児童が多く「家族で乗ってみたい」と笑顔を見せていました。



イベント
11.23(土・祝)

楽しいイベントが盛りだくさん！ 第32回真岡市大産業祭

商工会議所の産業祭、JA はが野の真岡地区 JA まつり、市主催の消費者展・環境展・子どもまつりなどが一堂に会し、大産業祭が開催されました。市内外の飲食店が軒を連ね、米・そば粉の無料配布やパトカー、消防車両、自衛隊特殊車両の展示、真岡工業高校による電気自動車運行体験など、さまざまなイベントが行われ、多くの人たちでにぎわいました。



①真岡キッズハーモニー ②ふわふわもおかびょん ③自衛隊車両展示 ④エコバッグづくり ⑤射的コーナー ⑥フラワーアレンジメント体験 ⑦仔牛の重さ当て

イベント
11.24 (日)

真岡鐵道に乗って、見て、触って、食べて、楽しめる SL フェスタ 2024

SL キューロク館周辺で“SL フェスタ”が開催され、キューロク号やデゴイチ号との記念撮影、ヘッドマークの展示、ミニ SL など、鉄道に関連したイベントが行われました。国鉄時代に活躍したキハ 20 形気動車の構内走行では、乗車体験に多くの人々が並び、昔懐かしい真岡線の雰囲気を楽しみました。



イベント
11.24 (日)

走って、蹴って、プロの技を子どもたちに直伝 上野優作さん サッカー教室

元プロサッカー選手で日本代表チームのコーチも務めた、市アンバサダー上野優作さんによるサッカー教室が開催されました。市内の7クラブ約170人の小学生が参加し、低・中・高学年の3部に分かれ、ドリブルやミニゲームをしてプロの技術を学びました。最後に、質問コーナーやサインボールのプレゼントが行われ、子どもたちは貴重な思い出を作りました。



イベント
12.1 (日)

にのみや伝統のお祭りと音楽祭のコラボレーション いたどまち & 音楽祭

長い歴史のあるにのみや伝統のお祭り“いたどまち”が久下田駅前どんとこい広場で行われました。音楽祭も同時開催され、青空の下、たくさんの観客が、吹奏楽や太鼓の演奏などを楽しみました。毎年恒例の豪華賞品が当たるビンゴゲーム大会では、子どもたちが真剣な表情でカードを見つめ、数字が読み上げられるたびに、歓声と拍手が沸き起こり盛り上がりしました。



①真岡ミュージカル ②和太鼓チーム童楽鼓 ③久下田中・物部中吹奏楽 ④消防ポンプ乗車体験 ⑤模擬店 ⑥ミニ上棟式 ⑦ビンゴゲーム大会

教室・講座
11.14 (木)

電話のかけ方・カメラの使い方を学ぶ 初心者向けスマートフォン教室

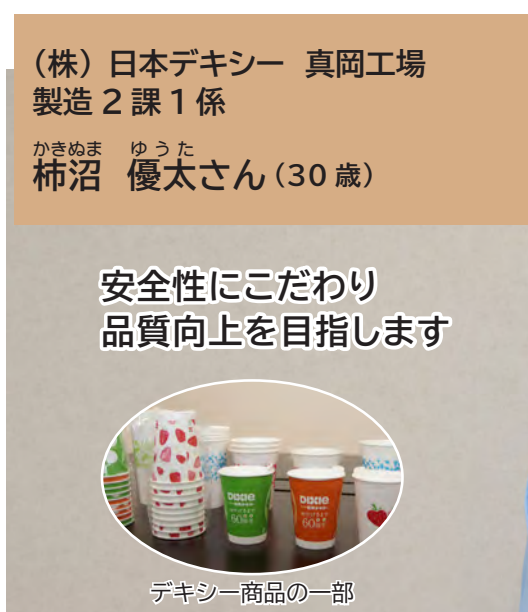
スマートフォンの操作に少し不安のある方などを対象とした教室が開催されました。市内の中学2年生（写真は真岡中）が、マイ・チャレンジ推進事業の一環として講師の補助役を務め、一緒に操作しながら参加者の質問に丁寧に答えました。身近なスマートフォンをもっと便利に利用してほしいという生徒たちの気持ちが伝わるひとときとなりました。



ちょっと拝見！ MOKA の職場



パソコン作業の様子



(株) 日本デキシー 真岡工場
製造 2 課 1 係

かきめま ゆうた
柿沼 優太さん (30 歳)

安全性にこだわり
品質向上を目指します



デキシー商品の一部



上司と打ち合わせの様子



趣味のボルダリング

仕事内容を教えてください

当社は紙製品等を中心とする食品容器の製造販売をしています。

私は入社 12 年目で、現在製造課に所属し、生産時におけるさまざまなリスクを考慮しながら製品の出荷判定を行っています。具体的には、加工時の汚れや成形不良、飲み口のめくれ等の問題を検査機や目視で確認し、さらに設備のトラブルが無いが、日報等の記録からも情報収集して検証します。日々製品の品質や安全性を広範囲に確認し、製品の安全性の向上に努めています。

入社のきっかけは何でしたか？

もともと機械・ロボットに興味があり、工業高校へ進学しました。就職活動では、自動車関係の求人が多い中、紙コップや紙製品関係の企業の工場は珍しかったため興味を持ち応募しました。現在の職場では、高校で学んだ機械トラブルへの対処方法や機械構造についての知識が役立っています。

やりがいは何ですか？

出荷判定による審査の結果、自身の判断によって不具合のある製品が発見され、工場外への流出を未然に防ぐことができた時、自分の判断に自身が持てます。最終的に納品された製品が店舗に並び、そのパッケージ等を目にした時は、生産時の苦労やさまざまな工程が思い起こされ、喜びを感じます。また、商品がもうすぐ店頭に並ぶという期待感も楽しみの一つです。

休暇の過ごし方は？

週 1 回ボルダリングに通っています。ボルダリングは腕の力だけでなく、身体全体を使い試行錯誤をして登るので、健康にも良いし楽しいです。通い始めて 5 年ぐらいになります。

今後の目標を教えてください

自分一人でも正確に出荷判定ができるよう、知識や経験を積んで製品の安全性の向上に努めています。

会社プロフィール



(株) 日本デキシー真岡工場

【所在】
鬼怒ヶ丘 1-14-1
【設立】
2009 年 10 月



会社 HP



紙コップ（紙カップ）、断熱カップ、紙皿（紙プレート）、食品容器等、環境にやさしいリサイクル可能な紙容器を製造販売しています。省資源や新素材を用いた紙容器の開発に取り組み、お客さまの声を反映した体制を整えてきました。今後も多様化するニーズに応えられる高付加価値の紙容器を迅速に提供することを目指します。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ
Tel. 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp



あの日あそこ

第 427 回

みどりかわ きちこ
緑川 幸子さん
(熊倉在住・81 歳)



仲間とともに築いた 真女バドミントン部の創成期

私は昭和 18 年に台町で 3 人きょうだいの長女として生まれました。真岡駅の近くに住んでいたため、幼い頃は、真岡駅前にある神社「守鐵社」で 4 月にお祭りが行われると、野外に白い大きなスクリーンが設置され、きょうだいで映画鑑賞を楽しみました。

真岡小、真岡中へ通い、中学校では運動が好きだったので、バレーボール部、ソフトボール部、バスケットボール部に所属していました。高校は、真岡女子高校へ進学しました。どの部活に入ろうかと考えていた時に、先生から「バドミントンをやってみないか」と誘われたのがきっかけで、バドミントン愛好会へ所属しました。初めてのラケット競技で、ほとんどの生徒が初心者だったのでみんな先生や経験者に基



▲県大会で優勝した時の一枚
(前列右から 3 番目が緑川さん)

消費生活センターメモ No.499

若者がターゲットのトラブル急増！ SNS やインターネットを介した「もうけ話」

18 歳になると、親の同意を得ずにさまざまな契約ができるようになります。一度契約すると、原則として一方的に解約することはできません。

【事例 1】ネット検索で見つけた「簡単作業で月 10 万円稼げる」という副業広告から、メッセージアプリで友だち登録をした。その後、事業者から電話があり、稼ぐために必要だと高額なサポートプランを勧められた。

【事例 2】SNS で知り合った相手から勧められ、消費者金融で借金をして投資サイトで暗号資産の取引をした。利益が出ているはずなのに、出金できない。



礎から教えてもらいながら、校庭や中学校の体育館を借りて毎日練習していました。そして、2 年生の時に出場した県大会では、個人戦で優勝。とてもうれしかったですね。そして 3 年生の時にバドミントン部となり、出場した県大会



▲カンボジア旅行での一枚

では個人戦、団体戦ともに優勝し、福岡県で行われた全国大会へ出場しました。部員たちと夜行列車に乗って移動したことや、栃木弁を少しからかわれたりしたことなど、どれも懐かしい思い出ですね。

卒業後は、市内の企業に 35 年間勤務しました。子育て中、バドミントンから一時離れた時期もありましたが、昭和 55 年の栃木国体では、バドミントン競技の審判員を務めました。

退職後は、友人や夫と海外旅行をしたり、最近



▲スポーツ吹き矢の仲間とともに

では、スポーツ吹き矢を楽しんでいます。吹き矢は腹式呼吸で行うスポーツなので健康に良いです。これからも気軽にスポーツを楽しみながら健康に暮らしていきたいと思っています。

トラブル回避のポイント

「もうかる」などのうまい話は信用しない

「簡単に稼げる」ことを強調する広告を安易にうのみにせず、慎重に判断しましょう。SNS で知り合った相手とトラブルになっても、相手を特定できないことがあります。

借金を勧める業者は要注意

「お金が無い」と断ると、「すぐに元が取れる」と借金やローンを勧められる場合があります。「契約しない」ときっぱり断りましょう。

身分証明書の情報を SNS で送らない

申し込みの際に、学生証、運転免許証、健康保険証などの情報を求められても、決して提供しないでください。後で取り戻すことは困難です。



【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）
Tel. 0285-84-7830（ハナシテナヤミナシ）
平日 9:00～12:00 13:00～16:00 ※相談料無料